報道関係者各位

2026 年 11 月 17 日（火）

〈初回授業レポート〉「人を惹きつける動画」はどう生まれる？水溜りボンド・カンタら人気クリエイター3 名が語る企画のつくり方



登録者 400 万人超の YouTube クリエイター、大規模映像企画の仕掛け人、ショート動画クリエイターが集結。AI 時代に求められる「企画力」を学ぶライブ授業を実施

IT 関連及びデジタルコンテンツの人材育成スクール、デジタルハリウッド（運営会社：デジタルハリウッド株式会社、本社/本校：東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO：藤井雅徳）が運営をする、新しい学びのスタイルを通して多様なライフスタイルを支援し全国へ展開している、Web と動画について学べるラーニングスタジオ『デジタルハリウッド STUDIO』では、水溜りボンドのカンタ氏がチーフカリキュラムディレクターを務める「映像クリエイター実践プログラム これからの映像戦略-AI 時代に創り、届け、稼ぎ、生きる-」の第 1 回超実践型ライブ授業を 2026 年 10 月 28 日に実施しました。

本リリースでは、記念すべき第 1 回の授業内容をレポート形式でご紹介します。

本プログラムでは、「創る」「届ける」「稼ぐ」「生きる」の 4 つのテーマを通じて、映像制作の技術に加え、企画を生み出す力や作品を発信する力、そしてクリエイターとして活動していくための視点を学びます。今回の授業は、「映像クリエイター実践プログラム」の全 4 テーマのうち、第 1 回「創る」をテーマにおこないました。

当日は、登録者 400 万人を超える YouTube チャンネル「水溜りボンド」での活動に加え、映像制作会社

digital hollywood
Copyright 2026 Digital Hollywood Co., Ltd. All Rights Reserved.

「Arks 株式会社」を率い、映像クリエイターとしても活躍するカンタ氏が進行役を務めました。

さらに、独自の大規模映像企画で注目を集める「だいにぐるーぷ」の岩田涼太氏、ショート動画を中心に活動する「伊吹とよへ」の伊吹氏をスペシャルゲストに迎えました。カンタ氏が二人の経験や考えを引き出しながら、「良い企画とは何か」をテーマに授業を展開しました。

【初回授業レポート】



■「創る」をきっかけに、映像クリエイターに求められる企画力と発想力を学ぶ

今回の超実践型授業では、映像クリエイターとして第一線で活動する 3 名が、それぞれの経験をもとに「良い企画とは何か？」について意見を交わしました。

岩田氏が挙げたのは、「シンプルで斬新であること」。どれだけ面白いアイデアでも、人に説明できなければ企画として伝わりません。シンプルでありながら、これまでにない新しさがあることが、人を惹きつける企画につながると語りました。
その例として、あるトップクリエイターによる「人間 UFO キャッチャー」のような、一言で内容が伝わる分かりやすさと、思わず見てみたくなる斬新さを兼ね備えた企画が挙げられました。

同じ「良い企画」という問いに対しても、映像のジャンルや届け方によって重視するポイントは異なります。3 名の考え方から、企画には一つの正解があるわけではなく、誰に何を届けたいのかによって、その形も変わることが見えてきました。

■「再生される企画」と「自分がやりたい企画」をどう両立するか

続いて話題になったのは、視聴者に見てもらえる企画と、自分自身が挑戦したい企画のバランスについてです。

digital hollywood
Copyright 2026 Digital Hollywood Co., Ltd. All Rights Reserved.

伊吹氏は「当てる企画をやりたい」と回答。まずは多くの人に見てもらえる企画を考える姿勢を示しました。動画をつくるうえでは、自分の表現したいことを追求するだけでなく、視聴者の関心や再生される可能性を考えることも欠かせません。

自分のやりたいことと、視聴者が求めていること。その両方をどう捉えるかは、クリエイターとして活動を続けていくうえで重要な視点です。



■第一線で活躍するクリエイターが考える、今から動画をつくるなら？
授業の後半では、「今、自分たちが動画を撮るならどのようなことをするか」という質問を通じて、実際の制作に関する考え方も共有されました。

三者三様の回答が出る中、カンタ氏は「共感力」の大切さを強調しました。どれだけ映像のクオリティが高くても、視聴者の心に届かなければ、最後まで見てもらうことは難しいもの。だからこそ、つくり手が伝えたいことだけでなく、「見る人が何を感じるのか」「どんな瞬間に面白いと思うのか」といった視聴者の視点を持つことが重要になります。

多くの人が「わかる！」「自分もそう思う！」と感じられる共感の要素を企画に取り入れることが、人の心を動かし、思わず誰かに共有したくなる動画づくりにつながるという考え方です。こうした「人に届く動画」をつくるための考え方は、カンタ氏が監修する「映像クリエイター実践プログラム」でも大切にしている学びのひとつです。

カンタ氏が CCD（チーフカリキュラムディレクター）を務めるデジタルハリウッド STUDIO だからこそ実現した、第一線で活躍するクリエイターたちと直接言葉を交わし、リアルな経験や考え方に触れられる実践的な授業となりました。

Copyright 2026 Digital Hollywood Co., Ltd. All Rights Reserved.



■映像を「創る」から「届ける」「稼ぐ」「生きる」へ
今回の授業は、「映像クリエイター実践プログラム」の全 4 テーマのうち、第 1 回「創る」をテーマに AI 時代に求められる企画力や発想力を軸とし、今回の「創る」から「届ける」「稼ぐ」「生きる」へと学びを広げ、映像制作を仕事やキャリアにつなげる実践的な授業を展開していきます。

また、本プログラムは、デジタルハリウッド STUDIO が展開する「超実践型ライブ授業」のひとつです。対象コースの受講生は、受講期間中であれば追加料金なしで何度でも参加でき、同じテーマでも毎回異なる学びに出会えることが特長です。

決まった正解を教えるのではなく、第一線で活躍する現役クリエイターだからこそ伝えられる、その時々の経験や発想、映像業界の最新の動向を授業に反映。授業内容そのものが常にアップデートされ、参加するたびに新しい発見や学びが生まれます。

デジタルハリウッドは、今後も現役クリエイターとともに進化し続ける実践的な学びを通じて、技術と発想力の両面から、これからの映像業界を担うクリエイターの育成に取り組んでまいります。

カンタ氏監修「映像クリエイター実践プログラム」の詳細はこちら
https://school.dhw.co.jp/course/netmovie/contents/kanta_video_strategy.html

デジタルハリウッド STUDIO「超実践型ライブ授業」の詳細はこちら
https://school.dhw.co.jp/support/learning/live_class.html

digital hollywood
Copyright 2026 Digital Hollywood Co., Ltd. All Rights Reserved.



■ 登壇者

カンタ氏（水溜りボンド）



動画クリエイター／映像監督／Arks 株式会社 Director。
2015 年より「水溜りボンド」として YouTube での活動を開始し、メインチャンネル登録者数は 400 万人を超える。個人チャンネル「カンタの大冒険」も登録者数 150 万人を超え、これまでに YouTube の「金の盾」を 3 枚、「銀の盾」を 8 枚獲得。現在は動画クリエイターとしての活動に加え、映像制作や SNS プロデースなどにも携わる。2026 年 8 月、デジタルハリウッド STUDIO のチーフカリキュラムディレクターに就任。

YouTube チャンネル：
・水溜りボンド：https://www.youtube.com/@mizutamaribond
・カンタの大冒険：https://www.youtube.com/@kantanodaiboke

岩田涼太氏（だいにぐるーぷ）



YouTube クリエイター集団「だいにぐるーぷ」のリーダー。2017 年の活動開始以来、「アメリカ全土で 1 週間鬼ごっこ」や「無人島からの脱出」など、従来の YouTube の枠にとらわれない大規模な企画動画を手掛ける。動画の企画立案を中心に、視聴者を引き込むストーリー性や独自の世界観を生かしたコンテンツ制作を展開。長尺動画ならではの構成力と企画力で、多くの視聴者を楽しませている。

YouTube チャンネル：
・だいにぐるーぷ：https://www.youtube.com/@dai2group

digital hollywood
Copyright 2026 Digital Hollywood Co., Ltd. All Rights Reserved.

伊吹氏（伊吹とよへ）



SNS 総フォロワー数 250 万人を超えるマルチクリエイター「伊吹とよへ」として活躍。地上波番組「ひまつぶ荘」（日本テレビ）へのレギュラー出演など活躍の場を広げた後に、 Podcast 番組『伊吹とよへ ラジオみかん』（ニッポン放送）にてパーソナリティーなど、活躍の場を広げている。さらには、エンタメから飲食店まであらゆる企業プロモーションにおけるコンサルティングや企画・制作などビジネスサイドの業務も担っている。 その後、QREATION を共同創業。現在では、「キュリエーション学院」「ときめき図鑑」「ちょこっとぱーちー」「アオのまにまに」などの演出を手掛ける。

YouTube チャンネル：
・伊吹とよへ：https://www.youtube.com/@ibukitoyohe

【講座紹介】

映像を「つくれる」だけでなく、「人に届け、仕事につなげられる」クリエイターへ。

カンタ氏がチーフカリキュラムディレクターを務める「映像クリエイター実践プログラム」は、未経験から映像業界への就職・転職を目指す方をはじめ、現職でのスキルアップや副業・フリーランスなど、多様なキャリアを目指す方が学ぶ対象コースに組み込まれています。

■受講対象コース
・動画クリエイター専攻
・動画ディレクター専攻
・動画クリエイター専攻　副業・フリーランスプラン

受講料：　上記対象コースの受講料に含まれます（追加料金なし）
受講形式：　校舎・オンライン
※対象コースや制度の対象期間は変更となる場合があります。詳細は各校舎にお問い合わせください。

学習内容や受講スタイル、費用・助成金制度、卒業後のキャリアまで、一人ひとりの目的に合わせてご案内します。

▼無料個別説明会のお申込みはこちら
https://school.dhw.co.jp/form/counseling/

【各種助成金・給付金制度について】

対象コースでは、条件を満たすことで各種助成金・給付金制度を活用できる場合があります。

■リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業
経済産業省による、キャリア相談からリスキリング講座の受講、転職支援までを一体的に支援する事業です。条件を満たす場合、受講料の最大 70%（上限 56 万円）が補助されます。

https://school.dhw.co.jp/prospectus/careerup_reskilling.html

■第四次産業革命スキル習得講座（Re スキル講座）

digital hollywood
Copyright 2026 Digital Hollywood Co., Ltd. All Rights Reserved.

経済産業省が認定する、IT・デジタル分野の専門的・実践的な講座です。対象講座では、一定の条件を満たすことで、厚生労働省の教育訓練給付金を利用できる場合があります。

https://school.dhw.co.jp/prospectus/reskillprogram/

※各制度には対象コースや受講開始時期、申請条件などの定めがあります。適用可否や給付内容については、無料個別説明会にてご相談ください。

【デジタルハリウッド STUDIO とは】

『デジタルハリウッド STUDIO』とは、「好きなことを、好きな時間で、好きな場所で、自分らしく学ぶ。」をコンセプトに、目的や地域に特化した学習スタイルを提供する今までにないラーニングスタジオとして、全国に展開しています。デジタルハリウッド設立より 30 年以上もの間、多くの実績を生んできた教育ノウハウとメソッドを集約し、確実にスキルが身につくカリキュラムを提供しています。

「ワーク・シフト」が注目されはじめた当時、働き方が大きく変わる中、併せて生活スタイルも時間の使い方そのものが変化をしはじめ、必然的に"学びのスタイル"も変化をしている流れをいち早く察知し、デジタルハリウッドでは 2012 年より、この「新しい学びのスタイル」を提供し始めております。

＊デジタルハリウッド STUDIO では、若者をはじめ専業主婦や就転職を目指す方、将来的に独立やフリーランスを考えている方など、さまざまな方が世代を超えて学ばれています。

デジタルハリウッド校舎一覧： https://school.dhw.co.jp/school/index.html

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】
デジタルハリウッド株式会社　広報室：川村
mail:press@dhw.co.jp
TEL：03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト：https://www.dhw.co.jp/
過去のプレスリリース：https://www.dhw.co.jp/press-release/

Copyright 2026 Digital Hollywood Co., Ltd. All Rights Reserved.